

活動紹介!

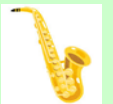
樹憧尺八クラブ

尺八のサークルです。発足してからもう28年になります。伝統芸能が先細る中で、貴重なサークルです。現在、先生の指導の下に、少人数のメンバーで、毎月第2・第4土曜日の夜に活動しています。古典から現代の音楽まで、幅広いジャンルの楽曲を演奏しています。日本の伝統楽器を広く知ってもらい、次の世代に伝承するための活動にも力を尽くされています。初心者でも大丈夫。入門者を随時募集しています。



4月の催しから

- 5(土)
 - ・ なかしまかおりピアノ / リトミック教室 発表会
- 6(日)
 - ・ 銀の猫室内楽演奏会
- 12(土)
 - ・ ジョン・チャヌ バイオリン愛のコンサート
- 19(土)
 - ・ 東久留米稲門会講演会
 - ・ くるめザ・コメディ
- 20(日)
 - ・ フィオリピアノ教室発表会
- 26(土) 27(日)
 - ・ Jazz フェスティバル
- 29(火)
 - ・ メリーポピンス ウインドバンド スプリングライブ



これらはあくまでも予定ですので変更もございます。一般の方の参加の可否等、詳細は主催者までお尋ねください。

会館事務室から



今月の話題 - ペーパーレス

紙の消費は文化のパロメーターと言われてきました。今やその発想は逆転し、紙の消費が多ければ多いほど非効率で、少なければ少ないほどよいという時代になってきました。いわゆるペーパーレスです。今各方面で盛んに進められているデジタル化の副産物として起きてきた社会現象です。さらに、これまで紙の文書でなければ認められなかったものがデジタル文書でもよしとする法の改正もこれを後押ししています。



ペーパーレスの利点は様々です。まずは、紙を扱うことの煩わしさからの解放です。ファイルにとじ込んだり開いたりする手間も省け、保管にスペースをとられることもなくなって、オフィス空間がぐっと広がったと言われます。その他に大きなものは、環境保護、省資源、節約です。ある企業は、年間億を超えたダイレクトメールを電子メールで送るようにしたところ、CO₂を9割以上減らすことができたそうです。紙代、郵送費の節減もかなりのものです。

一方で、ペーパーレスの影響をまともに受けているのが紙産業です。印刷用紙、新聞紙などに使われる洋紙の国内出荷量はピーク時と比べると、およそ半分までに減っているそうです。紙の需要はなくなることなくとも、今後この傾向は一層加速していくことでしょう。

反面、板紙と言われる段ボールの生産は宅配事業の拡大によって増えているのは納得のいくところで。私たちと紙との関係も、暮らしの変化の流れ中で移り変わっています。